

2025年度決算概要 2026年度業績予想 および「中期経営計画2026」進捗

2026/2/10



I N D E X

01

2025年度 決算概要

02

2026年度 業績予想

03

「中期経営計画2026」 (中計26) 進捗

04

Appendix

01

2025年度 決算概要

01

2025年度決算概要 サマリー

2025年度実績

/前年同期、(増減)

1	受注高	:	11,584億円	/	9,361億円	(2,223億円)
2	売上高	:	10,669億円	/	10,711億円	(▲42億円)
3	営業利益	:	515億円	/	551億円	(▲36億円)
4	ROIC	:	4.2%	/	4.8%	(▲0.6pt)

前年同期比

市場環境

国内は景気が緩やかに回復、北米も堅調に推移。
景気の低迷が続いた中国、欧州では持ち直しの動きが見られた。

受注高

全般に需要の回復が見られ、全セグメントで増加。

売上高

メカトロニクスで増加するも、インダストリアル マシナリーや
ロジスティックス&コンストラクションで前期の受注が少なかったことから減少。

営業利益

インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションの売上の
減少などを受けて減少。

01

2025年度決算概要

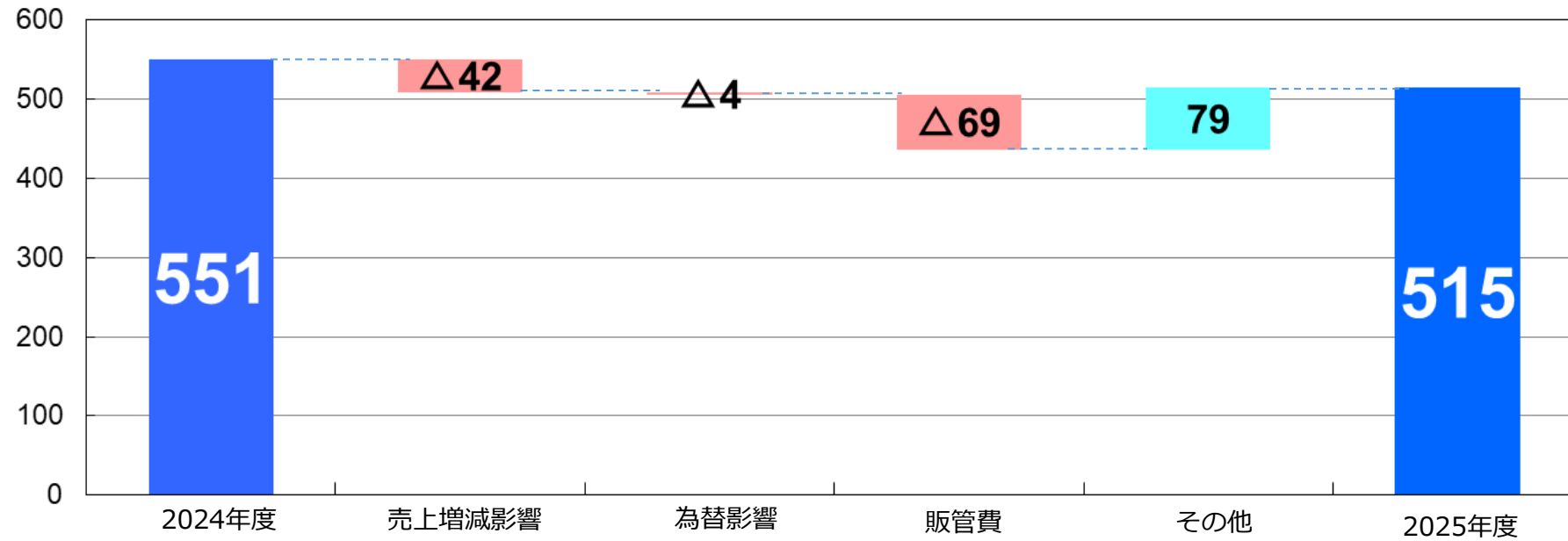
親会社株主純利益は309億円

単位：億円	2024年度 実績(通期)	2025年度					前年同期比 増減(通期)
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
受注高	9,361	2,602	2,753	2,542	3,688	11,584	2,223
売上高	10,711	2,415	2,531	2,586	3,137	10,669	▲42
営業利益	551	112	105	131	167	515	▲36
営業利益率	5.1%	4.6%	4.1%	5.1%	5.3%	4.8%	▲0.3pt
経常利益	492	100	102	113	159	473	▲19
経常利益率	4.6%	4.2%	4.0%	4.4%	5.1%	4.4	▲0.2pt
特別損益	△275	△1	△8	△2	△14	△25	250
親会社株主純利益	77	65	59	75	111	309	232
親会社株主純利益率	0.7%	2.7%	2.3%	2.9%	3.5%	2.9%	2.2pt
為替レート(USD/JPY)	¥152	-	-	-	-	¥150	-

01

2024年度/2025年度 営業利益増減分析

単位：億円



売上増減影響 セグメント別内訳

単位：億円

● メカトロニクス	42
● インダストリアルマシナリー	△82
● ロジスティックス&コンストラクション	△7
● エネルギー&ライフライン	5
合計	△42

01

2025年度決算概要 セグメント別

受注高 : 全般に需要の回復が見られ、全セグメントで増加

売上高 : メカトロニクスで増加するも、インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションで前期の受注が少なく減少

営業利益 : インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションの売上の減少などを受けて減少

	受注高			売上高			営業利益				
	2024年度 実績	2025年度 実績	増減	2024年度 実績	2025年度 実績	増減	2024年度 実績 /営業利益率(%)		2025年度 実績 /営業利益(%)		増減
単位：億円											
メカトロニクス	2,420	2,753	332	2,564	2,712	148	117	4.6	190	7.0	73
インダストリアル マシナリー	2,060	2,251	191	2,340	2,226	▲114	123	5.2	42	1.9	▲81
ロジスティックス&コンストラクション	3,397	3,991	593	3,925	3,889	▲36	253	6.4	140	3.6	▲113
エネルギー&ライフライン	1,418	2,527	1,109	1,820	1,776	▲43	38	2.1	121	6.8	83
その他	65	63	▲2	62	65	3	20	-	21	-	1
合計	9,361	11,584	2,223	10,711	10,669	▲42	551	5.1	515	4.8	▲36

各セグメントに含まれる戦略ビジネスユニットの受注・売上内訳を 4.Appendix に記載

01

連結貸借対照表

単位：億円

	2024/12末	2025/12末	増減
流動資産	7,845	7,868	23
現預金	1,111	1,111	0
売上債権	3,074	3,137	62
棚卸資産	3,339	3,288	▲51
その他	321	333	12
固定資産	4,757	5,337	580
有形固定資産	3,480	3,732	252
無形固定資産	283	331	48
投資その他の資産	995	1,274	279
資産合計	12,602	13,205	603

	2024/12末	2025/12末	増減
負債	6,138	6,343	205
買掛債務	1,532	1,464	▲67
有利子負債	2,386	2,527	141
その他	2,220	2,352	131
純資産	6,464	6,862	398
株主資本	4,736	4,884	147
その他の包括利益累計額	1,670	1,933	263
非支配株主持分	57	46	▲12
負債・純資産合計	12,602	13,205	603
ネット有利子負債比率	10.1%	10.7%	0.6pt
自己資本比率	50.8%	51.6%	0.8pt

01

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

区分	2024年度	2025年度	増減
営業活動	128	637	509
税金等調整前当期純利益	217	448	231
減価償却費	374	386	12
運転資本	△537	△60	477
その他（税金等）	74	△138	▲212
投資活動	△495	△594	▲99
（フリーキャッシュ・フロー）	△367	43	410
財務活動	419	△71	▲491
現金・現金同等物増減	73	1	▲72
現金・現金同等物期末残高	1,075	1,076	1

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
フリー キャッシュ・ フロー（億円）	120	△159	221	△367	43
債務償還年数 （年）*1	1.8	7.5	2.5	18.7	4.0
インタレスト・ カバレッジ・ レシオ（倍）*2	81.8	20.0	27.1	3.4	16.8

*1 有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

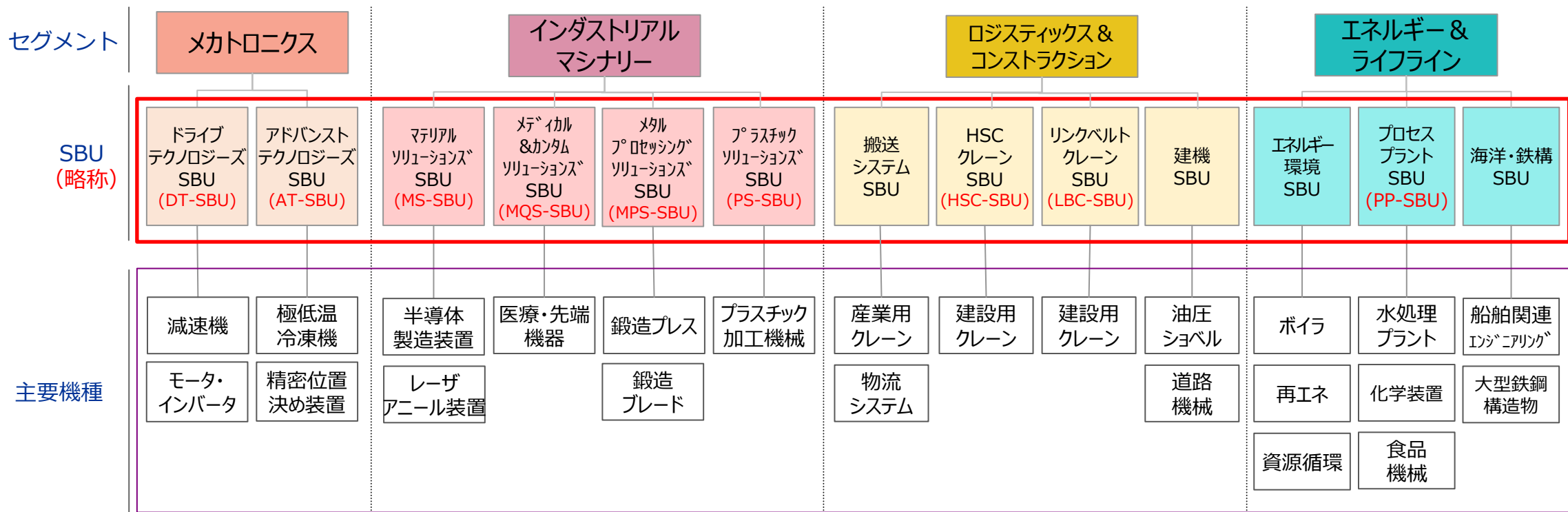
*2 営業キャッシュ・フロー÷利払い

02

2026年度 業績予想

02 セグメント組織強化：戦略ビジネスユニット（SBU）の正式組織化

- ・セグメントを構成していた事業部制を廃止し、あらたにセグメントを構成する組織として、市場起点で価値創出を担う戦略ビジネスユニット（SBU）制を立ち上げ
- ・顧客基盤や技術の連携によるシナジー強化および業務効率化を進め、将来に向けた新たな柱となる事業を創出し、さらなる成長に向け加速していく



※SBUのみ記載

02

2026年度業績予想 サマリー

2026年度予想

/前年同期、(増減)

① 受注高	:	11,200億円 /	11,584億円 (▲384億円)
② 売上高	:	10,900億円 /	10,669億円 (231億円)
③ 営業利益	:	600億円 /	515億円 (85億円)
④ ROIC	:	4.8% /	4.2% (0.6pt)

前年同期比

受注高

メカトロニクスで北米・欧州中心に増加するも
エネルギー&ライフラインで前年に大口の受注があった影響により減少

売上高

メカトロニクスでの受注の増加に伴い増加

営業利益

売上の増加に伴い増加

トピック
市況認識

- 国内市況は底堅く推移。
- 北米は不確実性あるも堅調、欧州は緩やかな回復が続く。
- 中国は引き続き全般に需要の低迷が継続。

02

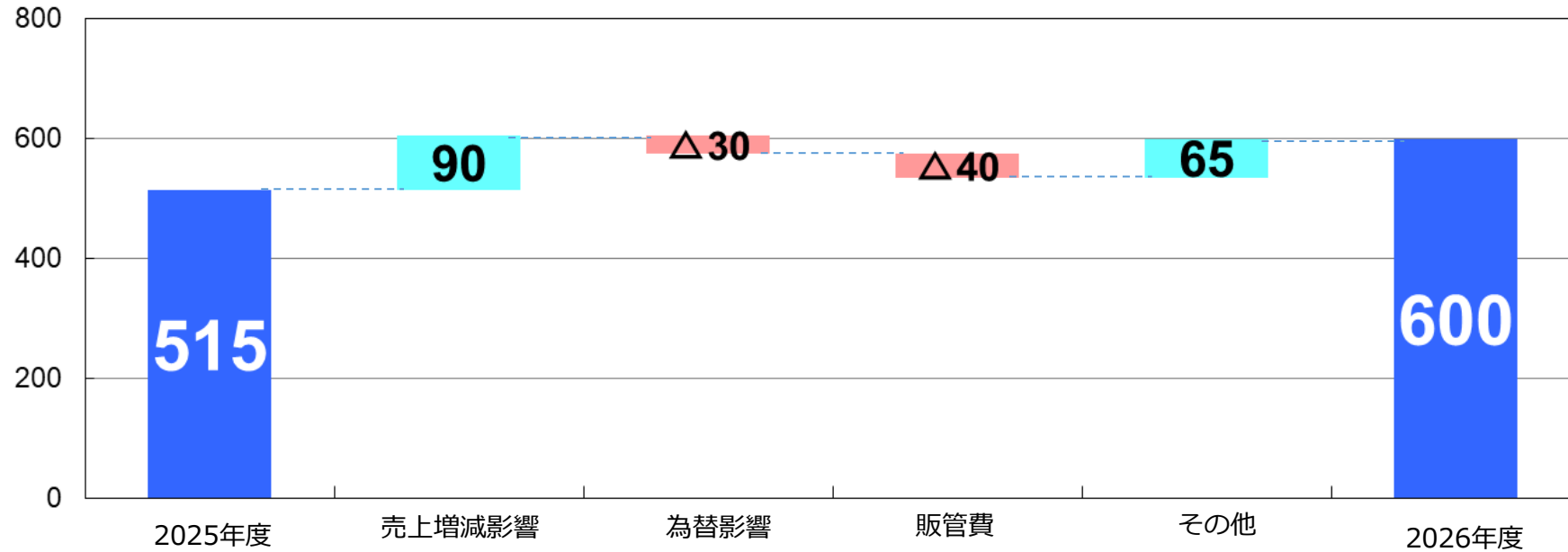
2026年度 業績予想

単位：億円	2025年度 実績	2026年度 予想	前期比増減
受注高	11,584	11,200	▲384
売上高	10,669	10,900	231
営業利益	515	600	85
営業利益率	4.8%	5.5%	0.7pt
経常利益	473	550	77
経常利益率	4.4%	5.0%	0.6pt
特別損益	△25	△50	▲25
親会社株主純利益	309	340	31
親会社株主利益率	2.9%	3.1%	0.2pt
1株当たり配当	125円	145円	-
総還元性向	48.6%	76.2%	-
ROIC(税引後)	4.2%	4.8%	-
【参考】ROE	4.7%	5.0%	-
為替レート(ドル)	¥150	¥145	-

02

2025年度/2026年度 営業利益増減分析

単位：億円



売上増減影響 セグメント別内訳

単位：億円

● メカトロニクス	50
● インダストリアル マシナリー	30
● ロジスティックス& コンストラクション	30
● エネルギー& ライフライン	△20
合計	90

02

2026年度 セグメント別業績予想

	受注高			売上高			営業利益				
	2025年度 実績	2026年度 予想	増減	2025年度 実績	2026年度 予想	増減	2025年度 実績 /営業利益率(%)		2026年度 予想 /営業利益率(%)		増減
単位：億円											
メカトロニクス	2,753	2,890	137	2,712	2,880	168	190	7.0	220	7.7	30
インダストリアル マシナリー	2,251	2,240	▲11	2,226	2,280	54	42	1.9	80	3.5	38
ロジスティックス&コンストラクション	3,991	3,990	▲1	3,889	3,980	91	140	3.6	190	4.8	50
エネルギー&ライフライン	2,527	2,020	▲507	1,776	1,700	▲76	121	6.8	80	4.7	▲40
その他	63	60	▲3	65	60	▲5	21	-	30	-	8
合計	11,584	11,200	▲384	10,669	10,900	231	515	4.8	600	5.5	85

各セグメントに含まれる戦略ビジネスユニットの受注・売上内訳を 4.Appendix に記載

02

メカトロニクス セグメント

■ 2025年度実績（前年同期増減）

受注高

2,753億円(+332億円)

変減速機は国内、海外とも需要が回復、モータ・インバータは欧州顧客の在庫調整が一巡、極低温冷凍機も半導体関連需要が増加

売上高

2,712億円(+148億円)

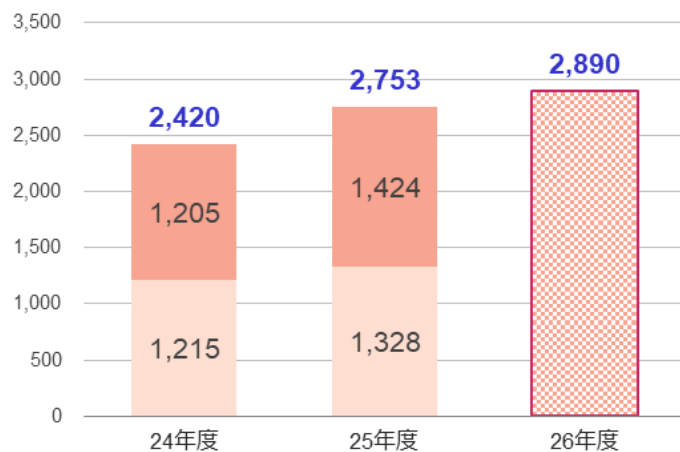
受注の増加に伴い、変減速機、モータ・インバータ、極低温冷凍機にて増加

営業利益

190億円(+73億円)

売上の増加に伴い増加

■ 受注高推移



※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

■ 2026年度予想（前年同期増減）

受注高

2,890億円(+137億円)

変減速機、モータ・インバータとも欧米での堅調な需要を受けて増加

売上高

2,880億円(+168億円)

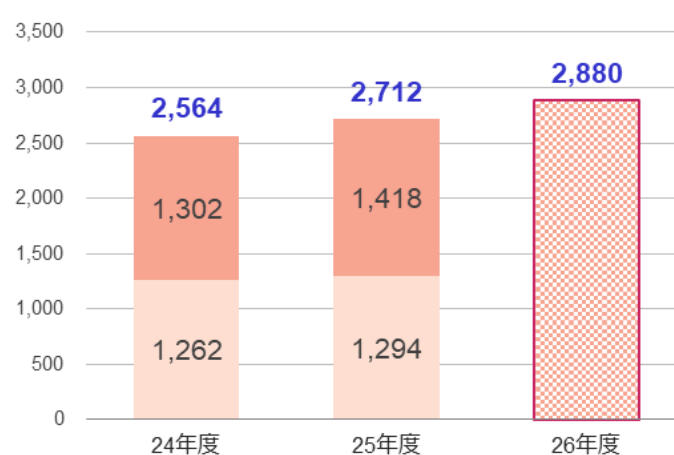
受注の増加に伴い、変減速機、モータ・インバータにて増加

営業利益

220億円(+30億円)

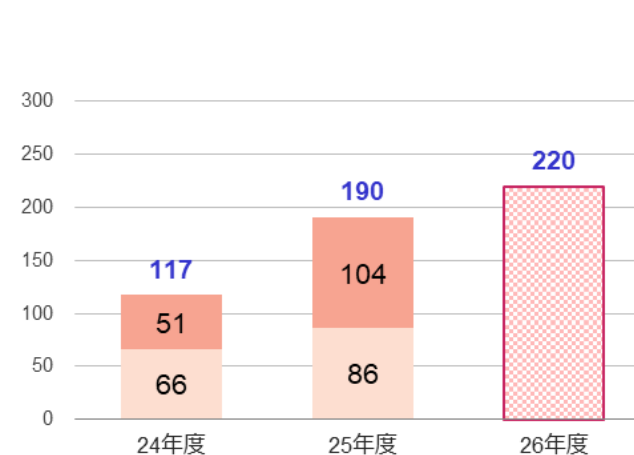
売上の増加に伴い増加

■ 売上高推移



■ 営業利益推移

単位：億円



02

インダストリアル マシナリー

■ 2025年度実績（前年同期増減）

受注高

2,251億円(+191億円)

プラスチック加工機械は価格改定前の駆け込み受注などにより増加、先端医療機器も増加

売上高

2,226億円(▲114億円)

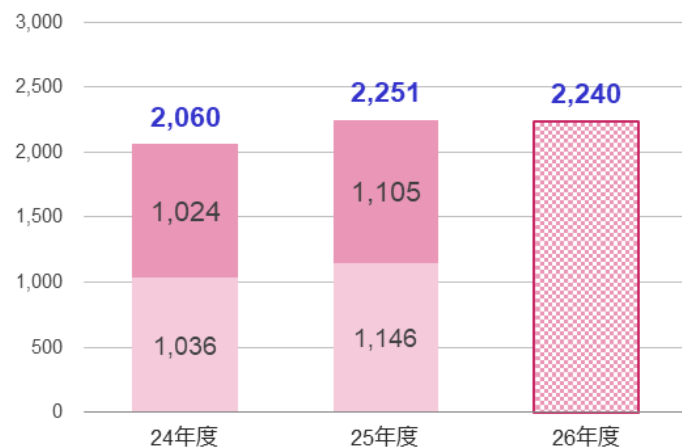
プラスチック加工機械の受注が増加するも、半導体製造装置の受注残が少なかったことから減少

営業利益

42億円(▲81億円)

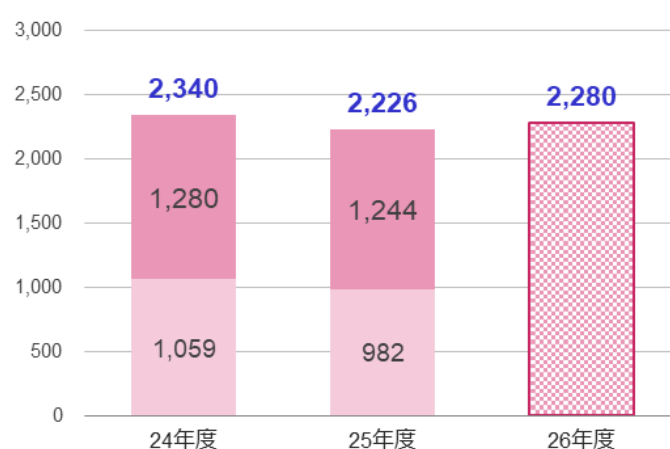
主に半導体製造装置の売上の減少を受けて減少

■ 受注高推移



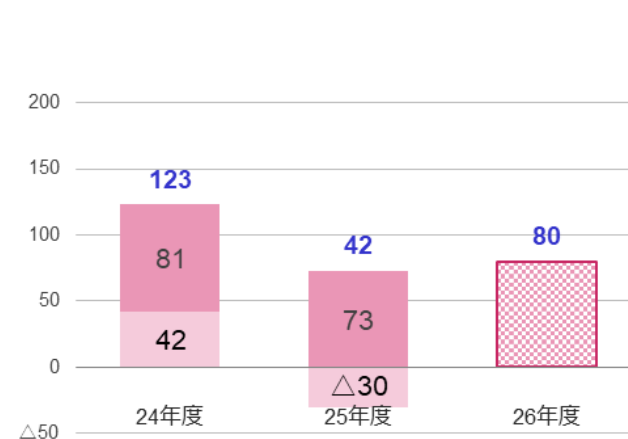
※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

■ 売上高推移



■ 営業利益推移

単位：億円



■ 2026年度予想（前年同期増減）

受注高

2,240億円(▲11億円)

半導体製造装置は顧客の一部投資再開により増加するも、プラスチック加工機械は前年の反動により減少

売上高

2,280億円(+54億円)

半導体製造装置の受注の増加を受け増加

営業利益

80億円(+38億円)

売上の増加に加え、プラスチック加工機械の欧州での構造改革の効果を見込む

02

ロジスティクス&コンストラクション

■ 2025年度実績（前年同期増減）

受注高

3,991億円(+593億円)

油圧ショベルは国内での価格改定に伴う駆け込み受注により増加、産業用クレーンも造船・鉄鋼向けを中心に増加

売上高

3,889億円(▲36億円)

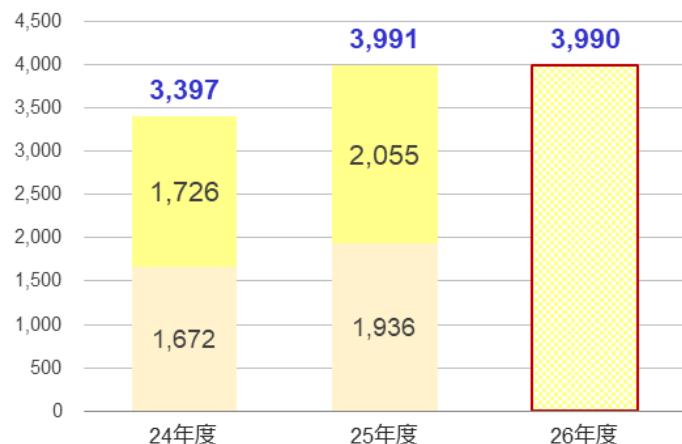
産業用クレーンは受注残があったことから増加するも、油圧ショベルの前期の受注が少なかったことから減少

営業利益

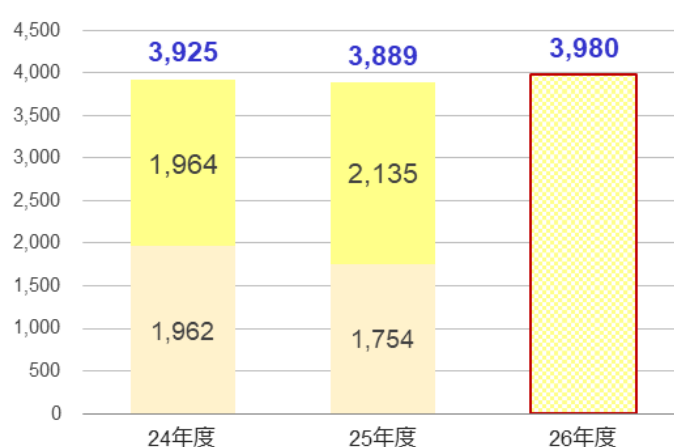
140億円(▲113億円)

油圧ショベルの売上の減少、産業用クレーンの高採算案件の減少、および貸倒引当金増加の影響により減少

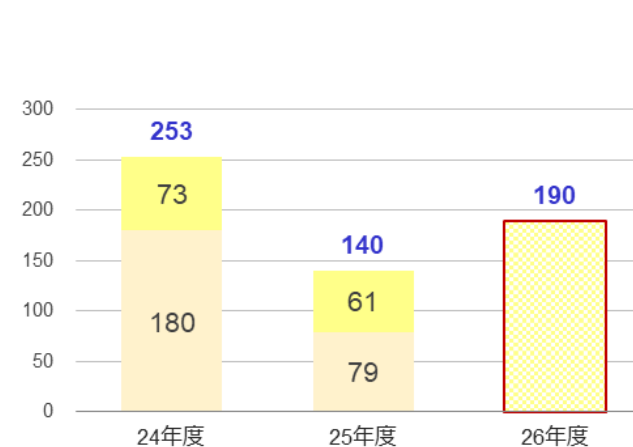
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



単位：億円

※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

■ 2026年度予想（前年同期増減）

受注高

3,990億円(▲1億円)

油圧ショベル、建設用クレーンで増加するも、産業用クレーンで前年に一定の受注を確保した反動があり、全体では前年並み

売上高

3,980億円(+91億円)

油圧ショベル、建設用クレーンの受注の増加に伴い増加

営業利益

190億円(+50億円)

売上の増加及び貸倒引当金の影響が無くなることにより増加

02

エネルギー＆ライフライン

■ 2025年度実績（前年同期増減）

受注高

2,527億円(+1,109億円)

国内、欧州でバイオマス発電設備を受注した他、水処理装置、海洋構造物などの受注もあり増加

売上高

1,776億円(▲43億円)

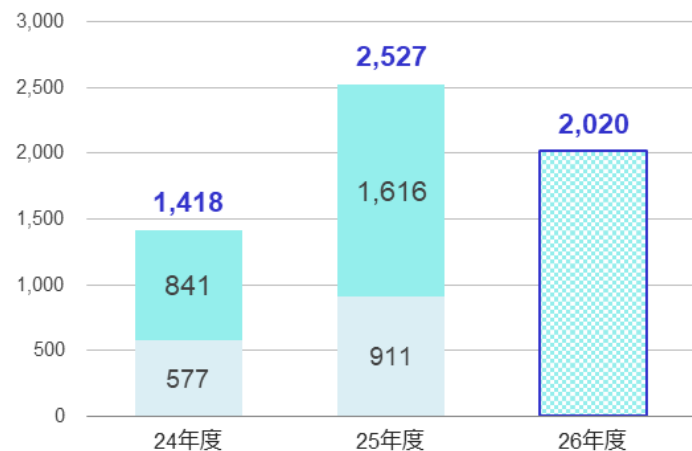
主にバイオマス発電設備の受注残が少なかったことから減少

営業利益

121億円(+83億円)

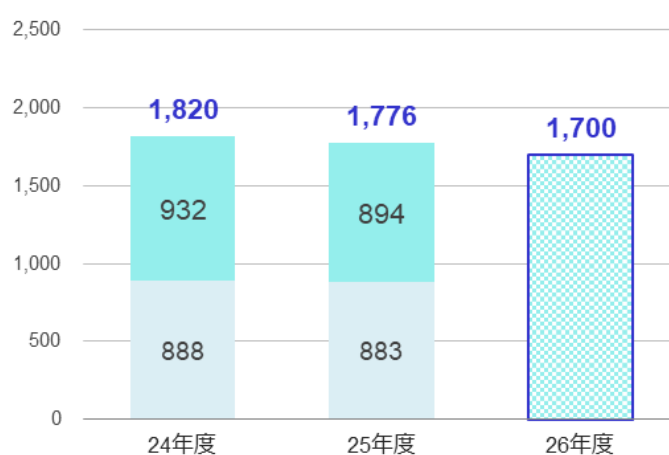
売上が減少するも、プロジェクトの採算改善、液化空気エネルギー貯蔵システム（LAES）にかかる開発費の減少などにより増加

■ 受注高推移

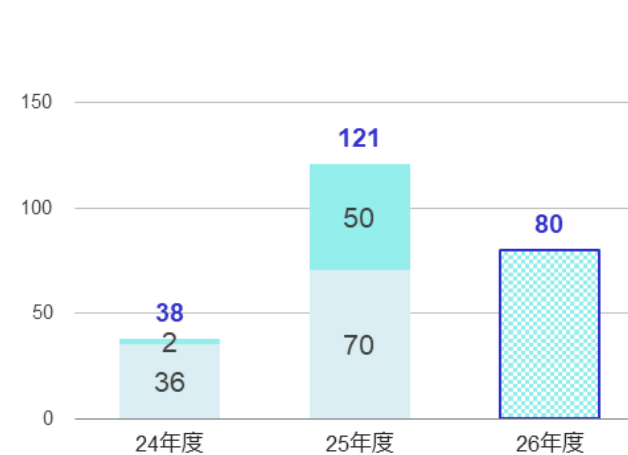


※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

■ 売上高推移



■ 営業利益推移



単位：億円

■ 2026年度予想（前年同期増減）

受注高

2,020億円(▲507億円)

前年に大型案件の受注があった影響により前年比で減少

売上高

1,700億円(▲76億円)

蒸気タービン・プロセスポンプの事業譲渡の影響により減少

営業利益

80億円(▲40億円)

売上の減少に伴い減少

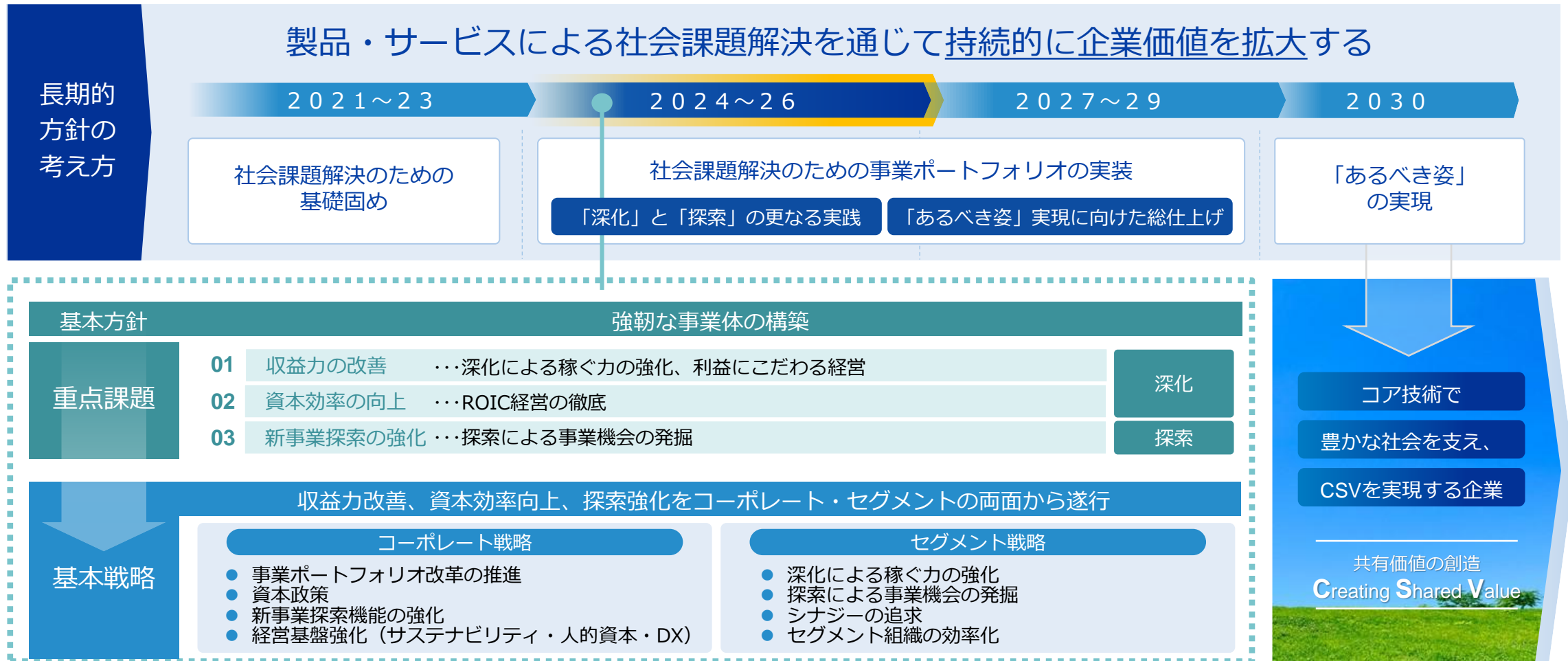
03

「中期経営計画2026」（中計26）進捗

03

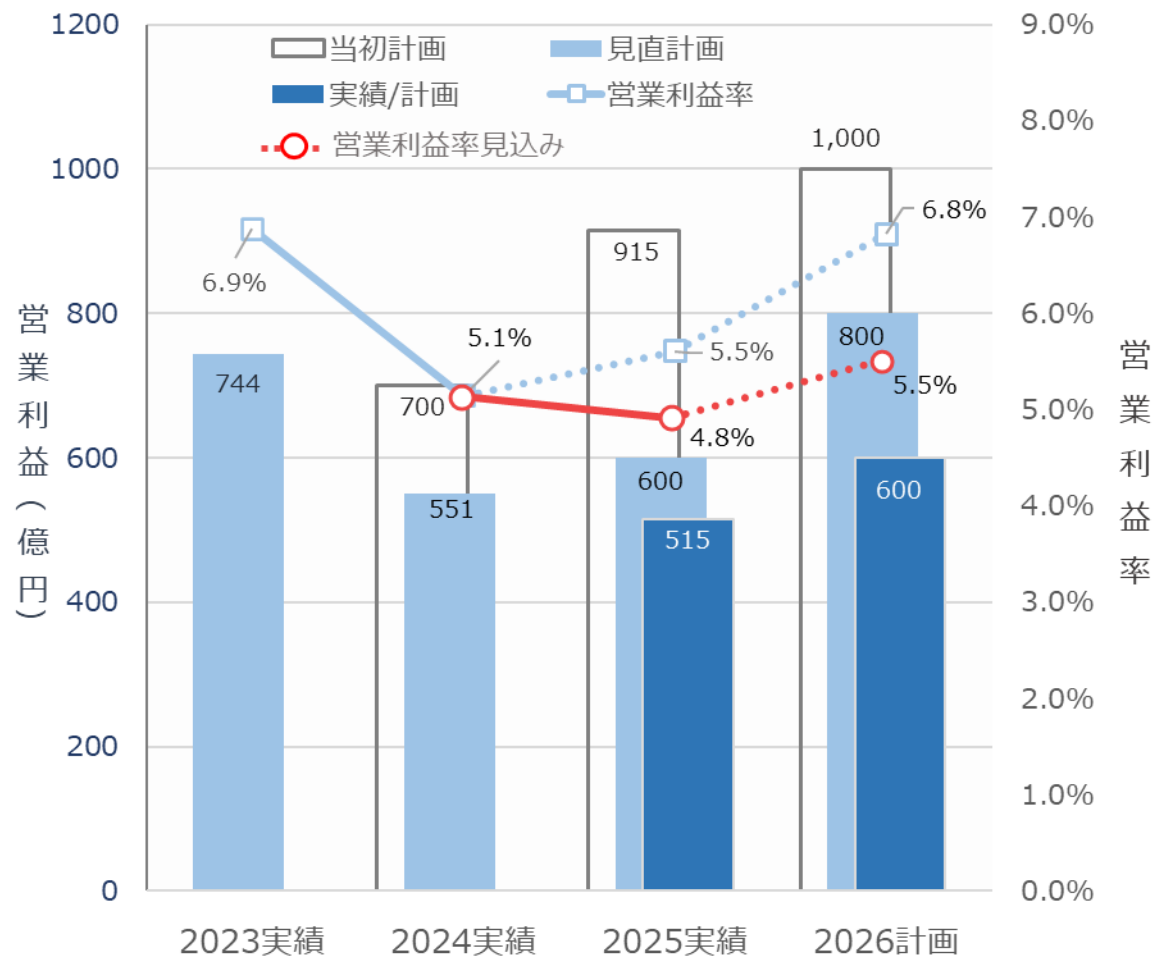
基本方針および骨子

- 中計26で設定した3つの重点課題の対応が遅れ、足元の業績が下振れしたため2025年2月に計画値の見直しを実施
- 見直中計の数値目標達成に向けた対応が求められる中、主力事業および半導体装置事業の収益性改善が喫緊の課題



03

事業環境の変化と中計26の見通し



25年 上半期からの事業環境の変化

欧州事業

- 電機制御事業は米国関税影響による供給制約で生産減
- EV回復基調も先行き不透明感による想定需要の下振れ受け、プラスチック加工機械事業への影響が継続

半導体事業

- 設備投資はAI向け以外の半導体、パワー半導体の需要低調によりイオン注入装置、MCZ用超電導マグネットの回復遅れ継続
- 25年の中国市場は回復基調に入りつつある
- イメージセンサ市場は26年後半以降の回復を想定

ショベル事業

- 国内の機械稼働状況に落ち込みはないが、機械飽和継続
- 米国の25年は代理店在庫の高止まりで出荷減、26年から関税影響が本格化し、購買マインド低下による需要減

2025年度は半導体装置事業およびショベル事業の落ち込みが顕著であり、見直計画からさらに85億円の営業利益低下

両事業は回復基調にあるものの、現状では2026年度の営業利益800億円の確保は困難な状況。この状況も踏まえ、人員対策も含めた主力事業の構造改革を実行し、将来に向けた経営基盤の強化を行う

構造改革による収益性向上と投下資本圧縮を進めるとともに、成長領域への経営資源を集中しROICおよびROEの向上を目指す

主力事業の構造改革

DT-SBU・PS-SBU・
建機SBU・HSC-SBU・
本社部門

事業ポートフォリオ 改革

資産売却

- 人員対策の実行
 - ・ 希望退職募集
 - ・ 65才超再雇用更新の見直し

- 需要想定見直しによる生産体制見直し
- 国内／海外製造拠点再編等

- 資本効率と戦略適合性の観点から判断し実行

- 有価証券売却
- 遊休地処分

収益力の向上と年齢
構成の是正を通じた
組織活性化を図る

成長領域への
経営資源集中

25年度実績	
営業利益	515億円
ROIC	4.2%
ROE	4.7%



26年度見通し	
営業利益	600億円
ROIC	4.8%
ROE	5.0%



27年度以降	
営業利益	700億円以上
ROIC	6.0%以上
ROE	6.0%以上

03

戦略課題に対するKPI進捗

- ギヤビジネス、電機制御事業、プラスチック加工機械事業の収益力強化については概ね計画通り進捗
- しかしながら外部環境の変化を受け、収益力の改善、資本効率の向上の進捗に遅れ
- 特に、半導体装置事業、シヨベル事業の収益力改善が急務であり、重点施策を加速すると共に人員対策も含めた構造改革を実施する

	戦略課題		KPI	メトリック	26年計画 (25年2月時点)	26年見込 (26年2月)	進捗
コーポレート	収益力の改善	深化による稼ぐ力の強化 利益にこだわる経営	営業利益率	営業利益率 営業利益	6.8% 800億円	5.5% 600億円	×
		戦略再構築事業の推進	改革案の策定と実行	進捗率	100%	100%	○
	資本効率の向上	ROIC経営の推進	ROIC	ROIC	7.0%	4.8%	×
	重点投資領域事業の伸長		半導体事業の売上拡大	売上	1,172億円	863億円	×
メカトロニクス	収益低迷事業の収益力強化		ギヤビジネスの営業利益率改善	営業利益率	9.7%	9.2%	△
			電機制御事業の受注拡大	受注	456億円	468億円	○
インダストリアル マシナリー	収益低迷事業の収益力強化		プラスチック加工機械の営業利益率改善	営業利益率	6.3%	6.0%	△
ロジスティクス & コンストラクション	基盤事業の収益力強化		シヨベル事業の受注拡大	受注	2,600億円	2,150億円	×

03

資本政策

- 営業CFが想定よりも低迷。回復へ向け、構造改革も含めた施策を着実に実行する。
- 株主還元方針は、25年2月に見直した中計方針を堅持する。
 - ①安定的かつ継続的な配当の実現（最低配当125円、DOE3.5%以上を目指す）
26年度配当は、一株あたり145円を予定
 - ②資本政策を加味した自社株買いを26年度も実施

※（ ）は中計見直し時(25年2月)

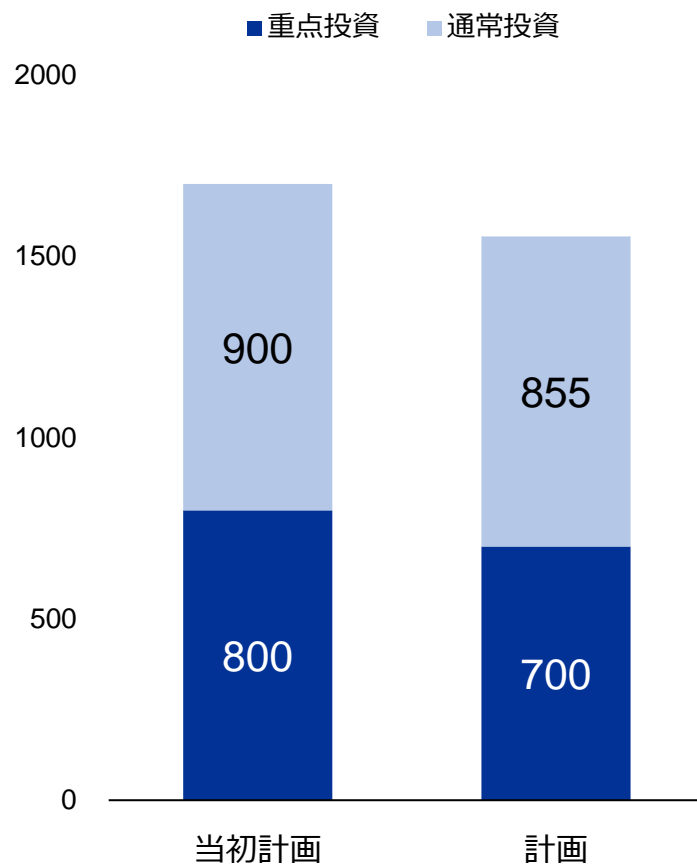
キャッシュ・イン		キャッシュ・アウト	
収益力の向上 キャッシュフロー創出力の向上	営業CF (研究開発費控除前) 2,350億円 (2,800億円)	設備投資 (M&Aを含む) 1,700億円 (1,900億円)	重点投資領域への投資 700億円 ロボティクス・自動化、半導体、先端医療機器、 環境・エネルギー分野に重点投資
運転資本の圧縮 製造変革活動による 生産リードタイム改善			
低ROIC事業の構造改革	有利子負債 1,000億円 (700億円)	研究開発費 950億円 (900億円)	重点投資領域への投資 700億円 ロボティクス・自動化、半導体、先端医療機器、 環境・エネルギー分野に重点投資
事業ポートフォリオ改革 事業譲渡、資産売却			
有利子負債の活用 財務健全性を損なわない 範囲で有利子負債を活用		株主還元 700億円 (700億円)	株主資本に見合う安定配当の実施 DOE 3.5%以上 下限配当は125円／株 資本政策を加味した自社株買いの実施 総還元性向 40%以上

03

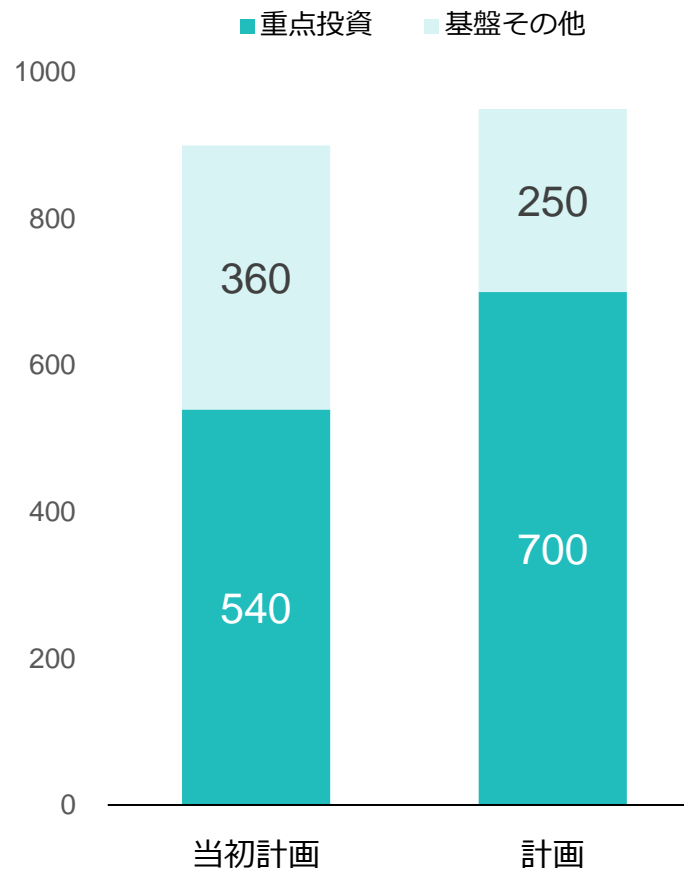
投資の実施状況

中計26 設備投資

※ M&Aを除く



中計26 研究開発投資



● 設備投資

中計26当初計画に対して
概ね90%の計画（M&Aを除く）

● 研究開発投資

中計26当初計画に対して
ほぼ計画通り

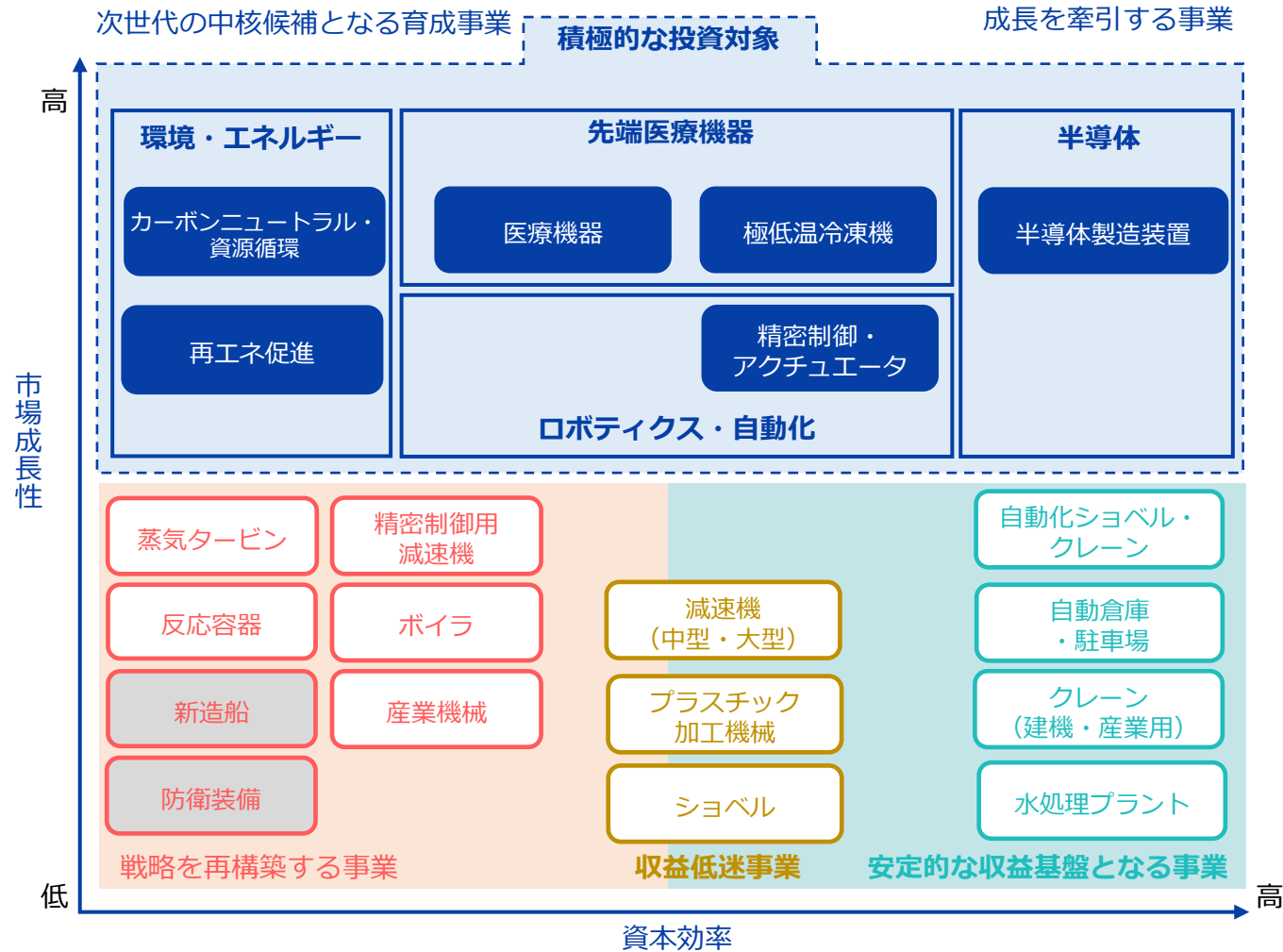
● M&A投資

中計26当初計画に対してほぼ
計画通り（3か年で150～200億円の計画）

03

事業ポートフォリオ

- 低成長・低収益事業の戦略再構築を実施し、成長を見込む4つの重点投資領域事業へ経営資源を集中し事業の拡大を図る



重点投資領域事業

事業規模

合計 約3,400億円

- ロボティクス・自動化分野の成長
- 半導体分野の成長
- 先端医療機器分野の成長
- 環境・エネルギー分野の成長

収益低迷事業

事業規模

合計 約4,500億円

- ギヤビジネスの営業利益改善
- 電機制御事業の受注拡大
- プラスチック加工機械の営業利益改善
- ショベル事業の営業利益改善
- 欧州事業の構造改革

戦略を再構築する事業

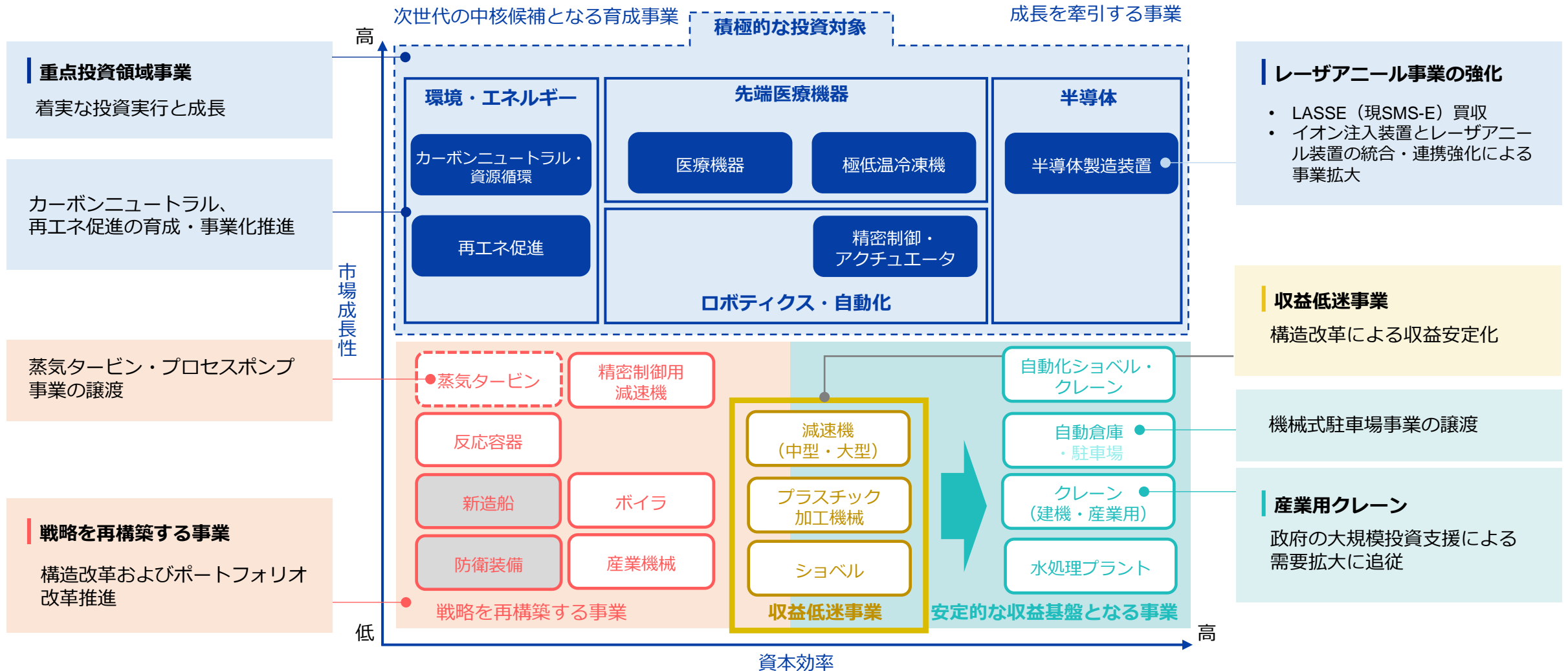
事業規模

合計 約1,200億円

- ポートフォリオマネジメント加速
(蒸気タービン、反応容器、ボイラ、産業機械、精密制御用減速機)

03

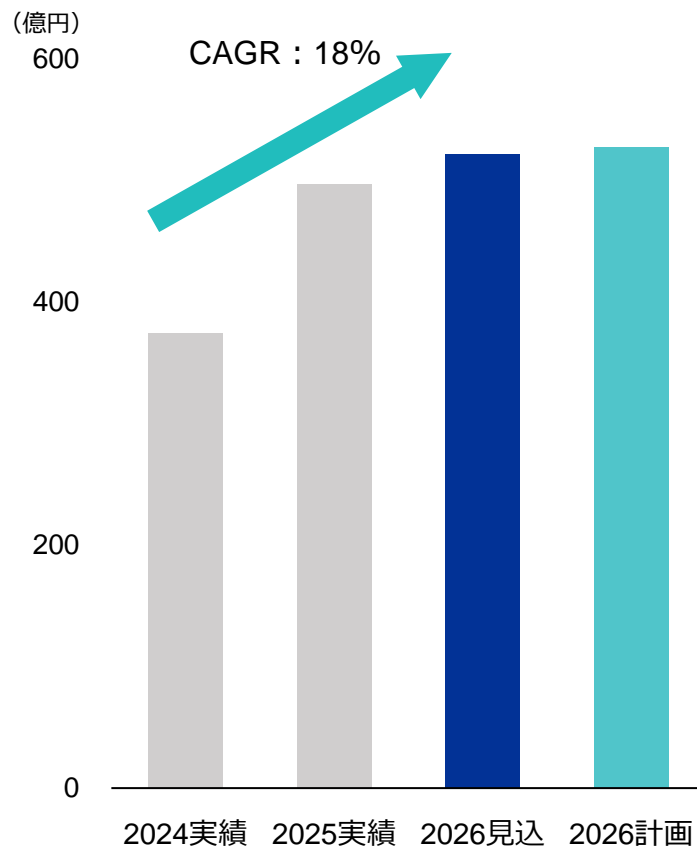
事業ポートフォリオおよび対処すべき課題（進捗状況）



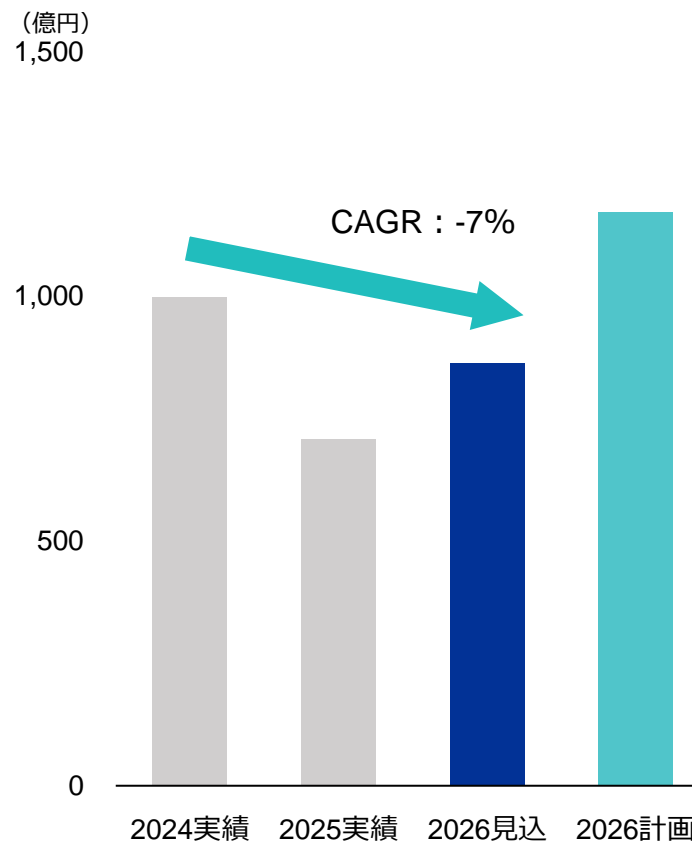
03

重点投資領域の伸長 進捗状況

ロボティクス・自動化分野：売上推移



半導体分野：売上推移



中計26計画 進捗状況

ロボティクス・自動化分野

2024年～2026年のCAGRは約18%で伸長が見込まれ、ほぼ計画通りに進捗

半導体分野

AI向けなど先端半導体は伸長するも、中国市場の急変、市場回復の遅れなどにより、半導体装置事業が影響を受け大幅未達

- LASSE（現SMS-E）を買収
- 先端分野向けなど、旺盛なレーザーアニール装置の引き合いに対応すべく生産体制増強を実施中

先端医療機器分野

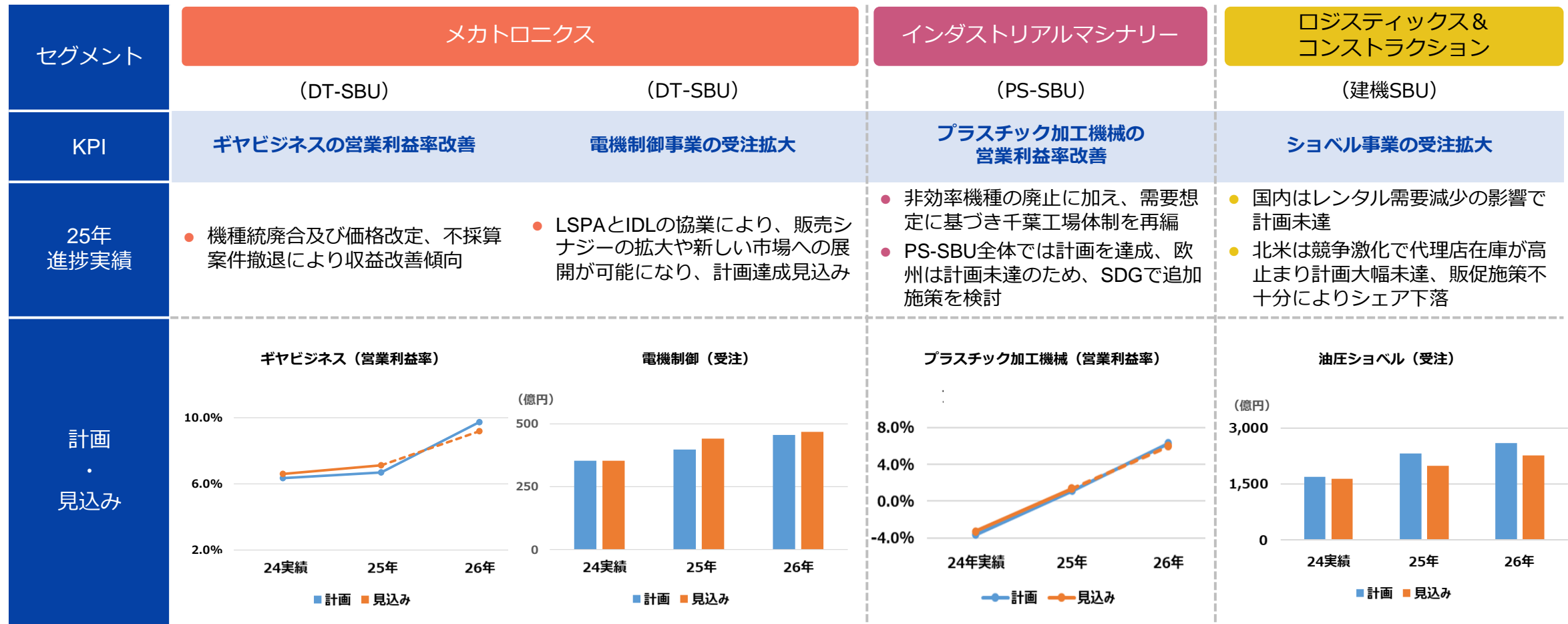
環境・エネルギー分野

ほぼ計画通りに進捗中

03

低収益事業の構造改革 進捗状況

● 低収益事業の構造改革を断行し、収益力を強化する



03

戦略再構築事業の改革推進

- ポートフォリオ改革の一環として、蒸気タービン・プロセスポンプおよび機械式駐車場事業の譲渡を決定

事業・機種	商品概要	対応状況
蒸気タービン ・ プロセスポンプ	<div>蒸気タービン</div>  <div>プロセスポンプ</div> 	<p>蒸気タービンおよびプロセスポンプを製造・販売する新日本造機株式会社（以下SNM）の発行済み全株式を株式会社西島製作所へ譲渡する株式譲渡契約を締結</p> <p>背景および期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNMの事業譲渡によって得られた資金を、成長を牽引する事業および次世代の中核機種となる育成事業に投入する ・ 株式会社西島製作所は水ポンプ事業で世界でも高いシェアを有する企業であり、ベストオーナーと判断 ・ 譲渡対象の事業規模 : 売上高200億円（2025年度） ・ 譲渡対象の従業員数 : 530名 ・ 譲渡時期 : 2026年7月予定
機械式駐車場	<div>機械式駐車場（スミパークエース）</div> 	<p>住友重機械搬送システム株式会社（以下MH）が製造・販売する機械式駐車場の事業をIHI運搬機械株式会社に承継させる吸収分割契約を締結</p> <p>背景および期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IHI運搬機械株式会社は機械式駐車場事業においては国内トップ企業であり事業基盤強化と業界発展に寄与、MHは経営資源をクレーン等の他事業にシフトし、更なる高収益事業体を目指す ・ 譲渡対象の事業規模 : 売上高80億円（2025年度） ・ 譲渡対象の従業員数 : 90名 ・ 譲渡時期 : 2026年11月予定

03

メカトロニクス セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標



メカトロニクス

(25年2月時点計画)
240億円(予想)
220億円

現状評価

- ギヤモータ事業の収益力強化も価格転嫁に一部遅れあり、サービス事業強化・拡大は継続中
- PC・スマホ用半導体案件の停滞により精密位置決め装置苦戦、狙いの海外大手顧客攻略を推進中

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
電機制御、 ロボティクス・自動化 (DT-SBU)	● 搬送物流市場での省エネ・高効率化に注力したビジネス展開	● 搬送物流市場向け分散制御インバータ搭載型ギヤモータの開発が遅れるも、グローバルで顧客開拓中	△
	● 小型精密モジュール事業の拡大	● 商品の開発およびライトハウスカスタマー開拓実施中	△
半導体 (コンポーネント) (AT-SBU)	● 精密位置決め装置の新市場拡大	● 狙いの米国顧客での精密位置決め装置評価開始	○
	● 米国に半導体サブシステム・コンポーネント開発センター設置、グローバルトップ顧客開拓の加速	● 25年11月に米国開発センター開設、評価用装置の設置完了し、グローバルトップ顧客へのアプローチ開始	△
基盤事業領域			
中型/大型減速機 (DT-SBU)	● 更新需要へのサービス強化とドロップイン提案、高効率モータを組合わせたギヤモータ商品力強化	● 国内サービス体制見直し、E/U活動強化、ドロップインのグローバル展開強化	○
	● 機種を集約	● 機種統廃合及び価格改定、不採算案件・顧客からの撤退	△

03 インダストリアル マシナリー セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標



インダストリアル
マシナリー

(25年2月時点計画)
220億円



(予想)
80億円

現状評価

- AI向け半導体以外の需要低調によりイオン注入装置、MCZ用超電導マグネットが苦戦
- プラスチック加工機械事業の構造改革を実行するも、欧州市場は想定需要回復に遅れ

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
半導体 (MS-SBU)	● 差別化商品の開発と、生産能力拡大によるイオン注入装置売上拡大	● イメージセンサ、パワー半導体の需要低下により25年売上大幅減。26年はロジックで需要が増加する見込み	×
	● メモリ、ロジックの新規分野展開と欧米顧客へのイオン注入装置販売展開、将来開発の推進	● 26年1月に半導体装置事業推進室を新設、レーザアニール装置増産に向けた活動を開始、新規顧客への対応および装置共同開発を推進（イオン注入装置、レーザアニール装置）	○
先端医療機器 (MQS-SBU)	● 陽子線治療装置（超電導型）、BNCT（次世代大電流型）の拡大戦略、実行	● 陽子線は進行基準遅れによる損益悪化、BNCTは受注案件期ズレ（次世代陽子線治療装置CyBeam2号機受注、26年度3号機受注予定）、BNCT4号機は26年治療開始、25年5号機受注、26年に2台受注予定	△
基盤事業領域			
プラスチック加工機械 (PS-SBU)	● 機種整理と業務プロセス変革	● 25年末迄に22機種生産中止完了（1年前倒し）	○
	● 追加再構築策の実施	● 想定需要を引き下げ、工場体制・機能の再編と販売体制・配置の再編に着手	○
	● SDGの構造改革実施	● 当初計画通り遂行中も、想定以上の需要減を見込み追加施策検討中	△

03

ロジスティックス&コンストラクション セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標

ロジスティックス&
コンストラクション(25年2月時点計画)
270億円(予想)
190億円

現状評価

- 社会課題解決に向けた電動化、遠隔・自動化、DXなどの先進技術開発を推進中
- 建設用クレーンとショベルの国内需要減少とショベルの北米競争激化による量の減少で収益低下

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
ロボティクス・自動化 (セグメント)	● セグメントに開発センター整備	● 開発センターの人員を増強。DXなどの開発部門を新設	○
	● 共通の電動化/遠隔・自動化/DXなど開発促進 (13.5トン電動ショベルなど)	● 13.5トンの電動ショベルをCSPI-EXPO2025（国際 建設・測量展）に出展、道路機械の自動化機能「ASTRA1.0」を発売	○
基盤事業領域			
建設機械 (建機SBU) (HSCクレーンSBU)	● 新機種投入による差別化と収益性改善	● 日米主要市場で油圧ショベル新型モデルを順次投入し需要掘り起こし	×
	● 横須賀製造所活用による最適生産体制の構築	● 27年度より生産開始、本格生産開始は28年度へ遅れ	△
物流機械 (搬送システムSBU)	● 自動化とカーボンニュートラルによる商品差別化開発 (ARTG)	● FC燃料置換タイプのARTGを東京港へ納入開始	○
	● DX活用（SIRMS®）によるサービス高付加価値化の展開	● SIRMS搭載機は累計56台へ拡大	○
	● 造船需要取り切りと新市場の開拓	● 標準提案で設計負荷を軽減するとともにリソースを優先投入、造船需要増加を受け生産能力増強検討中	○

03 エネルギー＆ライフライン セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標



(25年2月時点計画)
70億円



(予想)
80億円

現状評価

- カーボンニュートラル事業、再エネ促進事業の育成・事業化は計画通り推進中
- ボイラ事業の構造改革はほぼ計画通り、機能強化・提案メニューの拡充など、サービス事業も伸長

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
カーボンニュートラル・資源循環 (セグメント) (エネルギー環境SBU)	● カーボンキャプチャー技術実証および評価	● EUでのCO2分離回収試験完了、実機計画FEED対応中	○
	● バイオマスガス化～SAF製造実証	● ガス化～SAF製造のNEDO実証事業へ参画、酒田地区カーボンリサイクル事業のNEDO調査事業へ応募	○
	● 未利用バイオマスからの炭素固定化事業実証	● 各種燃料でのバイオ炭製造の実証完了	○
再エネ促進 (エネルギー環境SBU) (海洋・鉄構SBU)	● LAES実証設備の25年度中の商用運転開始	● 25年12月より実証運転開始（広島ガス㈱との共同実施）	○
	● 洋上風力基礎構造物事業化に向け営業力強化	● 第1ラウンドは再公募へ、第2ラウンド受注に向け見積対応中	△
基盤事業領域			
エネルギープラント (エネルギー環境SBU) プロセス機械/プラント (PP-SBU) サービス (セグメント)	● ボイラ事業の構造改革実施	● 操業量に応じた更なる固定費対策を計画	△
	● ボイラ燃料転換改造（TMU）の推進	● TMU案件の受注に遅れ、専任組織体制を整備し対応強化	△
	● 化工機・水処理・食品機械事業の拡大	● 受注拡大により売上計画過達	○
	● サービス事業拡大とセグメント内の連携強化	● 各事業部門間の連携によりサービス売上拡大	○

03

セグメント 重点施策例



インダストリアル マシナリー セグメント

半導体関連（MS-SBU）

イオン注入装置とレーザアニール装置の
統合・連携強化により事業拡大を図る



イオン注入装置

統合・連携強化

- 開発
- 販売
- 製造
- サービス



レーザアニール装置



ロジスティックス & コンストラクション セグメント

産業用クレーン（搬送システムSBU）

政府が策定した造船業再生ロードマップに基づき、
造船分野向けクレーンの需要が拡大

- 主な対象機種



ジブクレーン



ゴライアスクレーン

■ レーザアニール装置の状況

- ・ 先端ロジック、DRAM（HBM）、3D NANDの微細化・高積層化に向けた、レーザアニール工法を使った新しいアプリケーション開発が進行中
- ・ 複数の大手メーカーから引き合いを受けており、27年に25年比4倍の生産体制構築を計画
- ・ 半導体装置事業推進室を発足し、統合・連携課題を推進中

■ 造船向けクレーンの状況

- ・ 2025年末に「造船業再生ロードマップ」が公表され、2035年目標として建造能力倍増計画が示された
- ・ 当社は国内唯一の製造メーカーであり、造船各社の設備投資情報を収集し、旺盛な引き合いに対応するための生産能力増強を検討中

04

Appendix

04

セグメント別ROIC推移

	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 目標	対処すべき課題	今後の対応方針
メカトロニクス	4.5%	6.0%	7.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・電機制御事業（欧州）収益改善 ・ギヤモータ機種の収益改善 ・棚卸資産・固定資産の圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発完遂、販売／R&Dシナジー効果拡大 ・機種集約、不採算機種整理 ・サプライチェーン見直し
インダストリアル マシナリー	5.2%	2.7%	4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック加工機械事業の収益改善 ・生産効率向上 ・半導体／メモリ、ロジックの新規分野展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・需要想定見直しによる工場体制・販売体制の再編 ・設備投資抑制 ・イオン注入装置とレーザアニール装置の連携強化
ロジスティクス＆ コンストラクション	7.6%	4.7%	5.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・受注売上確保 ・建機事業の収益改善 ・在庫圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品／サービスの高付加価値化 ・体制最適化と固定費コントロール ・在庫手持ち月数削減
エネルギー＆ ライフライン	2.6%	6.4%	4.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラ事業の構造改革完遂 ・受注確保と個別損益改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務規律管理の徹底 ・サービス事業強化
連結	4.8%	4.2%	4.8%		

04

戦略ビジネスユニット（SBU）主要数値①

単位：億円

		受注高			売上高			営業利益					
		2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想	2024年度 実績		2025年度 実績		2026年度 予想	
単位：億円													
	ドライブテクノロジーズ	1,913	2,084	2,240	1,966	2,068	2,220						
	アドバンステクノロジーズ	524	679	680	652	683	710						
	その他事業・控除・調整等	▲17	▲10	▲30	▲55	▲39	▲50						
	メカトロニクス	2,420	2,753	2,890	2,564	2,712	2,880	117	4.6%	190	7.0%	220	7.7%
	マテリアルソリューションズ	395	352	450	637	388	500						
	メディカル& カンタムソリューションズ	146	253	250	234	242	200						
	メタルプロセッシング ソリューションズ	297	345	300	250	264	290						
	プラスチックソリューションズ	899	1,013	930	928	1,024	950						
	その他事業・控除・調整等	323	288	310	291	308	340						
	インダストリアル マシナリー	2,060	2,251	2,240	2,340	2,226	2,280	123	5.2%	42	1.9%	80	3.5%

04

戦略ビジネスユニット（SBU）主要数値②

単位：億円

受注高

2024年度
実績2025年度
実績2026年度
予想

売上高

2024年度
実績2025年度
実績2026年度予
想

営業利益

2024年度
実績2025年度
実績2026年度
予想

搬送システム

686

869

600

519

636

620

HSCクレーン

392

391

330

443

411

370

リンクベルトクレーン

771

877

1,000

838

879

970

建機

1,672

1,991

2,160

2,272

2,124

2,150

その他事業・控除・調整等

△124

△137

△100

△146

△161

△130

ロジスティックス&コンストラクション

3,397

3,991

3,990

3,925

3,889

3,980

253

6.4%

140

3.6%

190

4.7%

エネルギー環境

543

1,276

830

796

711

700

プロセスプラント

506

637

720

464

536

570

海洋・鉄構

213

450

400

413

376

340

その他事業・控除・調整等

155

164

70

147

153

90

エネルギー&ライフライン

1,418

2,527

2,020

1,820

1,776

1,700

38

2.1%

121

6.8%

80

4.7%

その他

65

63

60

62

65

60

20

-

21

-

30

-

合計

9,361

11,584

11,200

10,711

10,669

10,900

551

5.1%

515

4.8%

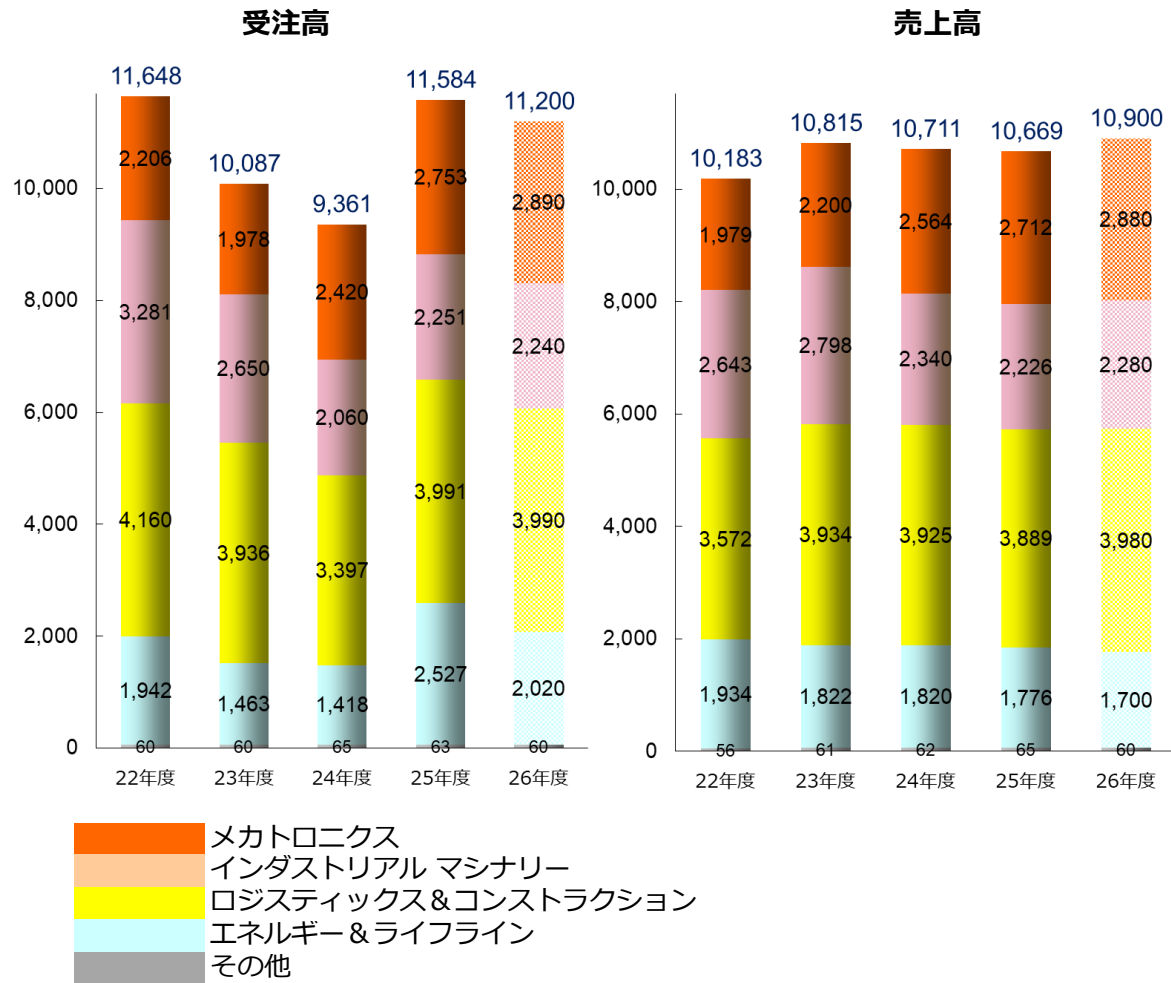
600

5.5%

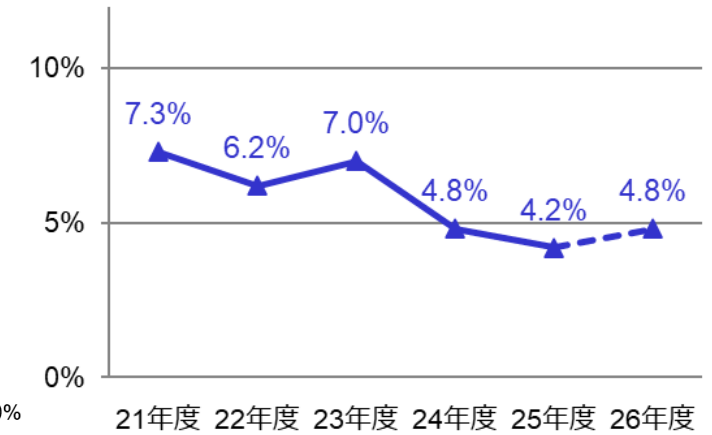
04

財務数値推移(連結)

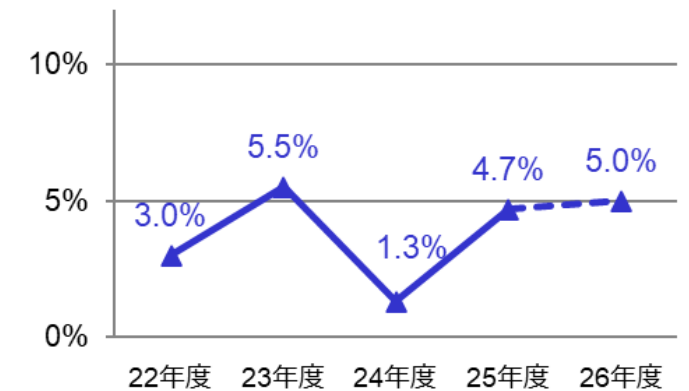
■ 受注／売上／営業利益 推移 単位：億円



■ ROIC 推移



(参考) ROE 推移

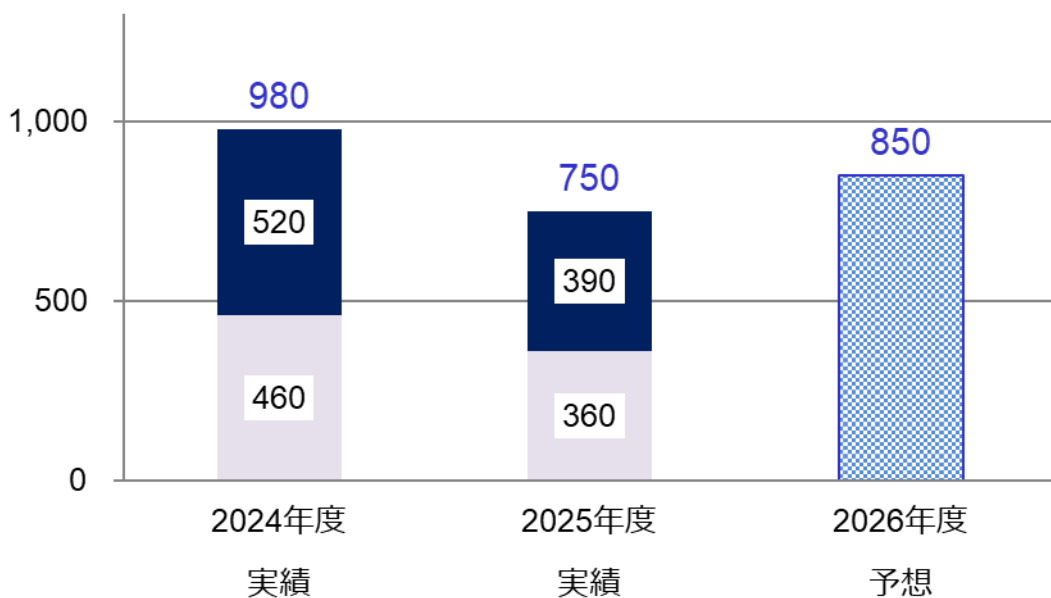


04

半導体関連事業売上

半導体関連事業 売上高合計（概数）

単位：億円



当社が保有する半導体分野向けコンポーネント、装置とキーテクノロジー

	製品	セグメント	SBU	キーテクノロジー		
				ビーム制御	極低温	真空
コンポーネント	4KGM冷凍機/クライオポンプ	メカトロニクス	アドバンスドテクノロジーズ		◎	◎
	真空ロボット					◎
装置	レーザアニール装置	インダストリアルマシナリー	マテリアルソリューションズ	◎		
	イオン注入装置			◎		○
	イオン照射事業			◎		○
	MCZ用超電導マグネット		メディカル&カンタムソリューションズ		◎	○

キーテクノロジーとの関係性（◎：大 ○：中）

04

各セグメント参考情報①

<メカトロニクス>

・変減速機事業 機種別売上構成（概数）

	ギヤモータ (中型)	ギヤボックス (大型)	精密用途 (MCD)	サービス	電機制御	合計
2025年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%
2024年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%

<インダストリアル マシナリー>

・射出成形機 売上業種別構成（概数）

	電気・電子 関連	自動車	医療・食品 容器・雑貨	その他	合計
2025年度	20%	15%	50%	15%	100%
2024年度	15%	20%	50%	15%	100%

04

各セグメント参考情報②

<ロジスティックス&コンストラクション>

・油圧ショベル 地域別需要推移（概数）

単位：万台		北米	欧州	※外資のみ アジア (除く中国)	中国 *	日本
2026年度	需要(予想)	3.5	3.3	2.7	1.5	2.0
2025年度	需要	4.0	3.2	3.0	1.3	1.9
2024年度	需要	3.9	2.9	2.7	1.1	2.3

・産業用クレーン 業種別受注構成（概数）

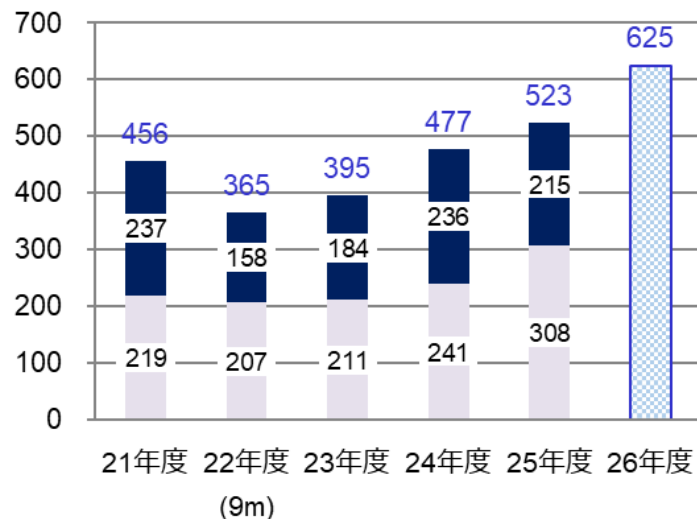
	電力	鉄鋼	造船	港湾	その他	合計
2025年度	0%	20%	50%	10%	20%	100%
2024年度	25%	35%	35%	0%	5%	100%

04

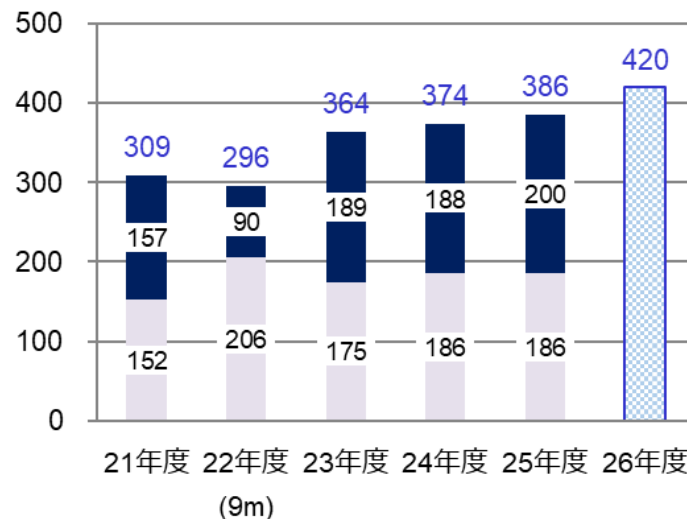
設備投資・減価償却費・研究開発費・人員・為替感応度

設備投資*

*実績はキャッシュアウトベース、
予想は決定ベース

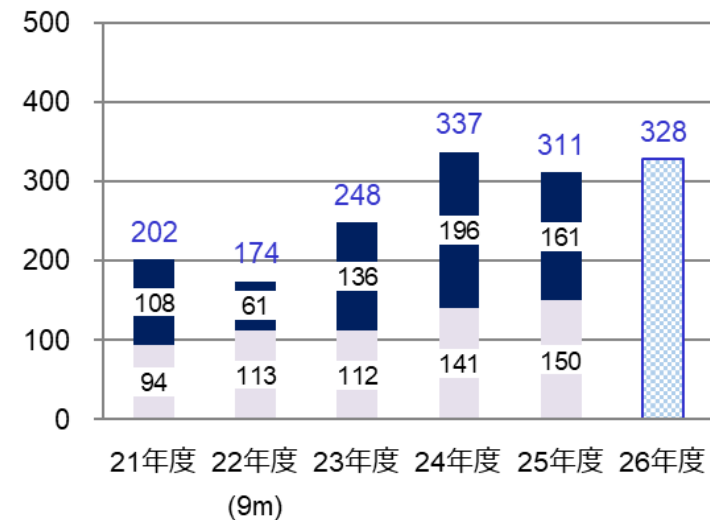


減価償却費



研究開発費*

*実績はPLベース、
予想は決定ベース



単位：億円

3-4Q
1-2Q
通期

人員（各年度終了時点）

単位：人	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全社計	25,211	25,303	25,337	25,123

為替感応度（2026年度予想）

単位：億円	ドル	ユーロ	合計
1円の変動による営業利益への影響額*	4.4	1.2	5.6

*2026年度想定レートは¥145（ドル）、¥170（ユーロ）

04

地域別売上高

<為替レート(ドル)¥150> 単位：億円	2025年度 実績																						
	北米		ヨーロッパ		アジア(除く中国)		中国		その他		海外 計		日本		総売上高								
メカトロニクス	597		581		343		290		198		2,010		702		2,712								
インダストリアル マシナリー	190		282		335		444		59		1,310		916		2,226								
ロジスティクス&コンストラクション	1,412		151		502		70		130		2,263		1,626		3,889								
エネルギー & ライフライン	134		321		231		19		86		791		986		1,776								
その他	-		-		-		1		-		1		65		65								
合計 / 売上高比率(%)	2,333		22	1,336		13	1,411		13	823		8	473		4	6,374		60	4,294		40	10,669	

<為替レート(ドル)¥152> 単位：億円	2024年度 実績															
	北米		ヨーロッパ		アジア(除く中国)		中国		その他		海外 計		日本		総売上高	
メカトロニクス	438		422		207		144		175		1,386		675		2,061	
インダストリアル マシナリー	299		378		410		684		79		1,850		993		2,843	
ロジスティクス&コンストラクション	1,457		150		498		55		149		2,309		1,616		3,925	
エネルギー&ライフライン	139		355		184		15		140		832		988		1,820	
その他	-		-		-		0		-		0		62		62	
合計 / 売上高比率(%)	2,332 22		1,305 12		1,299 12		898 8		543 5		6,377 60		4,334 40		10,711	



住友重機械工業株式会社

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。